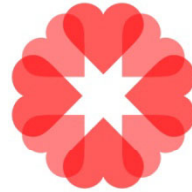


医療安全全国共同行動 実技講習会



目標3a 危険手技の安全な実施 -経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底-

《テーマ》 安全な経鼻栄養チューブの挿入を目指して
—人・物・技術—

日時: 平成22年5月15日(土) 10:00-12:00

場所 ベルサール九段 3階会議室 参加者66名

受講費 2,000円

企画責任・司会進行 春日部市立病院 山元恵子

プログラム

10 : 00～10 : 10 開会のあいさつ

金沢大学付属病院 坂口 美佐

10 : 10～10 : 30 講義 危険手技の安全な実施「経鼻栄養チューブ挿入の確認」

新横浜リハビリテーション病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 寺見 雅子

<内容>

咽頭周辺の解剖

嚥下のしくみと呼吸の関係

(経鼻栄養チューブの挿入が、なぜ危険な手技なのかを理解する)

経鼻栄養チューブの安全な挿入方法と確認方法

10 : 30～10 : 40 事例紹介

経鼻栄養チューブ挿入の確認方法 -レントゲン撮影による位置確認-

春日部市立病院 外科医長 君塚 圭

10:40～10:50 経管栄養チューブの種類と特徴及び固定テープの説明

日本医療器材工業会より

チューブ: JMS・日本シャーウッド・テルモ・アトム

・固定テープ メディコン・アルケア・メンリッケヘルスケア

10 : 50～11 : 50 技術演習 (グループごとに、各ブースを回っていただきます)

<内容>

①チューブ挿入後のレントゲン写真の確認のポイント

東京北社会保険病院 放射線技師長 関 良充

②pH試験紙・CO2測定器具を実際に使ってみよう-

竹田総合病院 医療安全管理室課長 須田喜代美

③経管栄養チューブ挿入のシミュレーション

摂食・嚥下障害看護認定看護師 寺見 雅子

11 : 50～12 : 00 情報交換とまとめ

春日部市立病院 山元 恵子

参加状況

- 参加者 66名
- 医師・看護師・薬剤師・看護教員・レントゲン技師

アンケート結果(N=46)

講義について

- 良く理解できた 19名
- 理解できた 27名
- 回答なし 0名

今後の活用

- とても活用できる 19名
- 活用できる 27名

技術演習について

- レントゲンが見れて良かった
- pHチェックを体験できた
- チューブ挿入20cmの確認方法が良かった

参加者からの意見

- 具体的な事例を紹介されてレントゲン撮影だけでなく、画像を読み取ることが必要であることが理解できた。
- 挿入前の患者アセスメントが必要であることが理解できた。
- 経鼻栄養チューブ挿入には技術が必要であることが理解できた。
- チューブの固定テープにも種類があり、管理上大切なことが解った。
- pHチェックの方法を実際に使ってみたい。
- チューブ挿入20cmの確認を初めて知った。
- DVDを活用し院内教育を行いたい。
- 学生の技術教育に使う